

突発性難聴の治療に 高気圧酸素療法

当院では、2021年度から高気圧酸素療法を導入しています。

耳鼻咽喉科 部長 岡野 博之

高気圧酸素療法装置

—高気圧酸素療法とは

高気圧酸素療法とは、大気圧よりも高い気圧下状態にし、通常よりもより高濃度の酸素を供給することで全身の酸素化不足や治癒の促進を図る治療法です。

通常の酸素吸入と違い、ヘモグロビン全部に酸素が結合した後も治療装置内の圧力を上げる事で、血液中に酸素を溶かし込む事ができます。血液中に酸素を多く取り入れることで抗菌作用を得られるとともに、血液が届きにくくなっている部分に酸素が行き渡るように作用します。

高気圧酸素療法は、潜水病、一酸化中毒、ガス壊疽等の他、脳梗塞、腸閉塞、網膜動脈閉塞症、重症感染症等にも応用されるようになっています。

当院では2021年から主に突発性難聴、下肢の潰瘍などの治療に使用しており、突発性難聴については健康保険も適用されます。この半年あまりで18名の患者さんに対して100回超の治療を行いました。安全に施行でき、経過はいずれも良好です。

—突発性難聴は一日も早い治療が望めます

突発性難聴は、感音性難聴の中でも数少ない治療可能な難聴ですが、進行が早く、1日放置するだけで完治率が大きく下がります。突発性難聴の診断がつかましたら、ぜひご紹介ください。

治療法としては副腎皮質ステロイド治療やビタミン剤点滴、循環改善薬などの効果が認められており、最近注目されているのが、これらと並行して行う高気圧酸素療法です。

—治療の際には

当院では、第1種治療装置（1機）を設置しています。患者さんにアクリルの筒状の装置に入ってもらい、徐々に気圧を上げていきます。治療中はTVや音楽を利用し、少しでもストレスなく治療ができるよう心掛けておりますので、リラックスして横になっていただいているだけで終了します。

現在は入院で治療しておりますが、今後は外来での治療を検討中です。

該当かどうか迷われる患者さんがおられましたら、一度ご相談ください。

地域医療連携室

TEL 0774-46-5981 (直通)

FAX 0774-46-7835 (直通)

高気圧酸素治療についてのご相談は地域医療連携室へ

ご紹介患者さんの予約サービスを行っております。待ち時間の短縮やスムーズな受診のために、ぜひご利用ください。



社会医療法人岡本病院(財団)

京都岡本記念病院

〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山西ノ口100番地

大切にします
こころからに やすさを